

アフターコロナ下の新幹線 ～新幹線が先行して回復～

長期間に亘って私たちの暮らしや仕事に大きな影響を及ぼしたコロナ禍。この中で同様に影響を受けた鉄道事業者であるが、コロナが一段落したなかで、新幹線の利用状況を見ることとする。

1. 旅行の回復が本格的に

感染状況は引き続き予断を許さないものの、新型コロナの取り扱いが「5類」に変更されるなどにより人々の行動が徐々に活発化、旅行・行楽等で人の移動が回復し、新幹線の利用にも反映している。例によってコロナ禍前後の新幹線利用の推移をJR東海とJR東日本の有価証券報告書・四半期報告書から四半期毎に見る。各年度Ⅱ～Ⅳ期の数字は有価証券報告書・四半期報告書各数字の表上の差し引きによる。端数処理の関係で合計は一致しないことがある。JR東日本は旅客数を新幹線・在来線別に発表していないため、旅客運賃収入の推移のみとなる。

両社ともコロナ第1波後の令和2年度Ⅰ期に未曾有の落ち込みを示し、以降幾度の感染拡大局面を経ながら徐々に回復、直近の本年度第Ⅱ期の旅客輸送人員並びに旅客運賃収入はコロナ禍前の水準を覗うところまでに来た。

今期連結中間決算の売上高は、JR東海が対前年同期比28.9%増、JR東日本が16.6%増であるが、中間決算に引き直した新幹線旅客運賃収入の対前年同月比はJR東海34.1%増、JR東日本39.1%増とそれぞれ回復を牽引する形となっている。

以降本年度第Ⅲ四半期、最終決算に向けては、引き続き好調が続くと見られており、この年末年始期間にJR東海は「1日平均では過去最多となる434本の東海道新幹線を運行する」（12月6日日経）という。

2. コロナ前からの回復は定期外が上回る

「順調な」回復状況をもう少し詳しく見てみる。次頁下表では両社の令和5年第Ⅱ四半期とコロナ前のほぼピークであった元年Ⅱ期（共に網掛け部）とを比較する（令和元年第Ⅱ期＝100）。

JR東海は、5年Ⅱ期が元年Ⅱ期に対し**旅客数**で、

定期旅客 77.0、定期外同 88.6、旅客数総合 87.6

旅客運賃収入では、

定期旅客74.2、定期外同 91.7、運賃収入総合91.4となる。

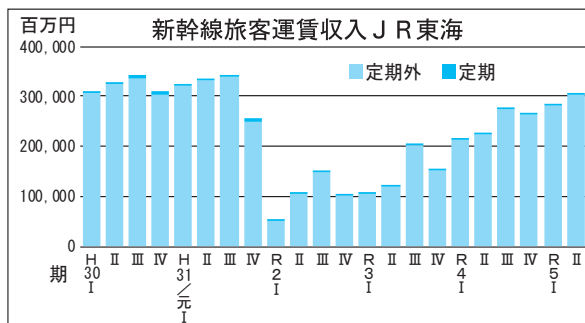
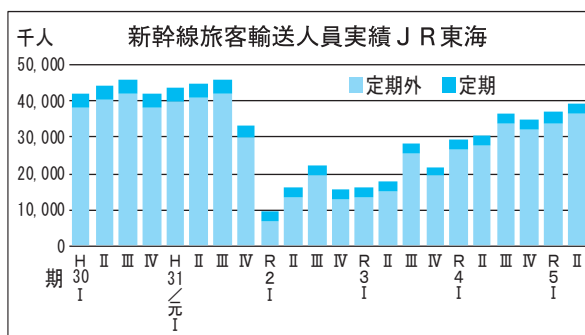
他方でJR東日本は、**旅客運賃収入**のみとなるが、

定期旅客90.0 定期外同87.8 運賃収入総合87.9

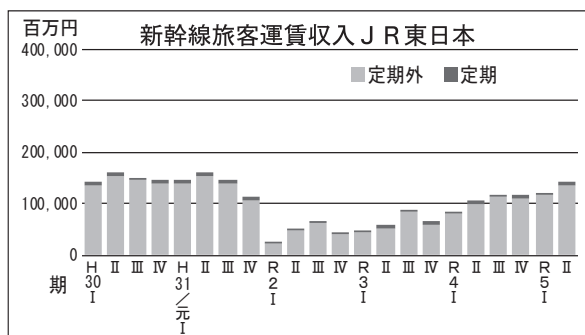
これによると、**定期旅客**はJR東日本の方が回復が進んでいるといえることができる。首都圏へ東北、上越、北陸と3方面から移動がある同社の運行体制がやや有利に働いているかとも考えられる。反対にJR東海は、**定期外**（観光、出張、その他）において回復が進んだとみられる。ただ、出張などビジネス利用は「観光の回復のペースに比べ穏やか」（丹羽JR東海社長10月31日中日）という。



東海道新幹線



↑ ↓ y 軸（運賃収入額）は、比較のため同一スケールにしてある



3. 定期外の回復が最終利益にも波及

下表で、J R東海発表の②旅客輸送人キロ（旅客1人が1キロ移動すると1人キロで、客数と移動距離の積数）を①旅客数で除したキロ/人値は334キロと、この期間中で最高値となった。コロナ下ではこの値が落ち込んだがここまでの回復となった。

前述の通り、定期外に比べ定期の回復が遅れ、旅客数の定期比率が7.7%とこの期間内で最低水準にあること、旅客運賃収入でも定期比率が1.1%と最低値となっているなど、相対的に距離の長い定期外利用の回復がキロ/人値のアップに端的に表れている。このことが最終利益の好調にも繋がっている。

リモートワークの普及等により定期旅客（通勤）の伸びが遅れている、というのは確実に言えるのではないかな。

4. 新年に向けて

来る令和6年は、3月に北陸新幹線の金沢～敦賀間が開通となる。新幹線運行開始によりこの地域がどう変貌するか見ていく。

他方でリニア新幹線は当地域の各所で工事の進展がみられることと思われる。先行地域の事例を踏まえて当地域の今後を考えていきたい。



周辺整備が進む北陸新幹線敦賀駅



リニア関連工事現場
座光寺上郷道路飯田線アンダーパス工事

J R東海・J R東日本 新幹線の利用状況推移

期 (四半期)	J R 東海										J R 東日本					
	旅客数 (千人) ①				旅客輸 送人キ ロ (百万人キロ) ②	輸送キロ (キロ/人) ②/①	旅客運賃収入 (百万円)				旅客輸 送人キ ロ (百万人キロ) ②	旅客運賃収入 (百万円)				
	定期	(定期 比率%)	定期外	計			定期	(定期 比率%)	定期外	計		定期	(定期 比率%)	定期外	計	
H30 I	3,911	(9.3)	38,338	42,249	13,577	321.4	4,642	(1.5)	307,844	312,486	5,629	6,277	(4.5)	134,463	140,740	
II	3,889	(8.8)	40,179	44,069	14,324	325.0	4,561	(1.4)	323,663	328,224	6,386	6,195	(3.9)	154,111	160,307	
III	3,893	(8.5)	41,987	45,879	14,833	323.3	4,610	(1.3)	337,481	342,092	6,067	6,144	(4.1)	145,027	151,170	
IV	3,634	(8.7)	38,340	41,973	13,543	322.7	4,371	(1.4)	304,674	309,044	5,661	6,040	(4.2)	138,907	144,948	
H31/元 I	3,937	(9.0)	39,666	43,603	14,136	324.2	4,684	(1.4)	321,872	326,557	5,788	6,321	(4.4)	138,905	145,227	
II	3,954	(8.8)	40,999	44,953	14,570	324.1	4,633	(1.4)	331,003	335,636	6,357	6,334	(3.9)	155,020	161,353	
III	3,979	(8.7)	41,841	45,821	14,848	324.0	4,755	(1.4)	339,145	343,900	5,866	6,629	(4.5)	139,641	146,271	
IV	3,699	(11.1)	29,684	33,382	10,455	313.2	4,375	(1.7)	250,903	255,277	4,514	6,559	(5.8)	106,173	112,732	
R 2 I	2,804	(28.7)	6,966	9,771	2,400	245.6	3,261	(6.0)	51,536	54,797	1,138	5,583	(20.9)	21,104	26,688	
II	2,733	(16.8)	13,556	16,289	4,635	284.5	3,063	(2.8)	104,717	107,780	2,088	5,296	(10.3)	45,904	51,200	
III	2,640	(11.9)	19,567	22,206	6,762	304.5	3,062	(2.0)	149,178	152,241	2,857	5,216	(7.8)	61,534	66,750	
IV	2,342	(15.3)	13,001	15,344	4,402	286.9	2,713	(2.6)	99,827	102,539	1,868	4,834	(10.7)	40,157	44,991	
R 3 I	2,674	(16.7)	13,317	15,991	4,476	279.9	3,094	(2.9)	103,635	106,730	1,987	5,213	(10.7)	43,388	48,602	
II	2,531	(14.2)	15,249	17,780	5,210	293.0	2,844	(2.3)	118,895	121,739	2,314	4,949	(8.7)	52,175	57,124	
III	2,657	(9.5)	25,336	27,993	8,732	311.9	3,042	(1.5)	202,032	205,073	3,536	5,039	(5.7)	83,258	88,297	
IV	2,427	(11.2)	19,319	21,747	6,758	310.8	2,810	(1.8)	153,493	156,304	2,548	5,082	(7.9)	58,984	64,065	
R 4 I	2,868	(9.8)	26,496	29,364	9,212	313.7	3,298	(1.5)	212,389	215,687	3,292	5,275	(6.2)	80,019	85,294	
II	2,824	(9.2)	27,774	30,598	9,805	320.4	3,176	(1.4)	223,650	226,827	4,038	5,386	(5.2)	98,696	104,083	
III	2,935	(8.0)	33,696	36,630	11,956	326.4	3,357	(1.2)	274,393	277,749	4,610	5,347	(4.6)	111,445	116,792	
IV	2,648	(7.6)	32,094	34,743	11,445	329.4	3,078	(1.2)	262,832	265,910	4,554	5,199	(4.5)	110,561	115,760	
R 5 I	3,086	(8.4)	33,725	36,811	12,256	332.9	3,566	(1.2)	283,118	286,684	4,785	5,663	(4.7)	116,001	121,665	
II	3,044	(7.7)	36,316	39,360	13,174	334.7	3,440	(1.1)	303,447	306,887	5,516	5,699	(4.0)	136,105	141,804	
R5Ⅱ/R1Ⅱ	77.0		88.6	87.6	90.4	103.3	74.2		91.7	91.4	86.8	90.0		87.8	87.9	

(J R東海・J R東日本 有価証券報告書・四半期報告書より作成)
(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平)